

平成 27 年 1 月 10 日 長沼バードピアづくり研修会

昨年の 2 月にも巣箱架けを行った宮城県登米市からの依頼、NPO 法人 伊豆沼長沼水環境ネットワーク主催で、長沼バードピアづくり研修会に出向きました。「バードピア」の基本的な考え方から、巣箱作り、巣箱架けの話に発展しました。いろいろな生きものが棲める環境にするには、常緑樹、落葉樹、高木、低木、草原など多様な環境が必要だと言えます。また、水場、エサ台（冬場のみ給餌）、巣箱（繁殖期）を準備し野鳥を呼ぶための環境を補ってもよいでしょう。



講義の後、会場で巣箱を作りました。だんだん慣れてきて手際がよくなります。野鳥たちが安心して利用できる巣箱が全部で 20 個出来上がりました！



出来上がった巣箱を持って、長沼フットピア公園へ移動。講義中に降っていた雪も止み、日が差してきました。巣箱を架けるのに適した木を探して、シュロ縄でしっかり縛ります。子育て中に巣箱が落ちたり、人が下を通りかかった時に巣箱が落ちたりしたら大変です。



この地域では、しばしばアメリカシロヒトリが発生することから、その対策の一つとして巣箱架けをし、子育て中の野鳥の餌にすることで発生を抑制することも期待できます。バードピアづくりは長沼周辺の自然を守り、生物多様性を保全するために貢献することができるのです。

架けた巣箱は使い終わった後、外して中を調べると、利用状況がわかります。昨年架けた巣箱を 5 つ外しましたが、どうやらスズメが利用していたようです。巣材に藁が使われていました。野鳥が利用した後に、蛾が利用した形跡もありました。巣箱の屋根板の裏に蛹がついていたのです。今年の春はどんな野鳥が、どのくらい利用するのか楽しみです。

